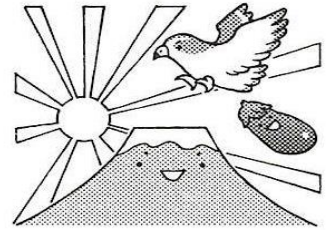


給食だより 1月号

令和3年12月23日
横浜市立元街小学校
校長 宮城 篤部
食 育 部

寒さが身に染みる季節。冬休みを楽しく過ごすためにも、
温かい料理を食し、体を動かして、寒さに負けない体づくりを
しましょう。



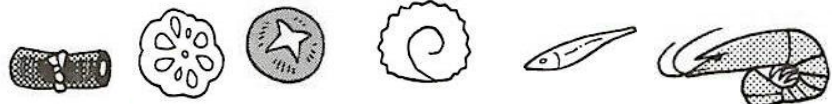
給食目標



感謝の気持ちをもって 食事をしよう



献立について



○日本の伝統的な食文化を伝えるために、正月料理を取り入れました。

(白玉ぞう煮・なます)

○給食週間にちなんだ献立を取り入れました。

- ・給食の歴史を伝える献立(ごはん・梅干し・焼きのり)
- ・横浜にかかわりの深い献立(すき焼き風煮)
- ・給食にかかわる人に感謝の気持ちをもてる献立(とんカツ)

○冬に美味しい旬の食品を取り入れました。

(ぶり、たら、ほうれんそう、こまつな、はくさい、
ごぼう、だいこん、みずな、しゅんぎく、みかん、
ぼんかん)



1月11日(火)から給食が始まります。

<献立情報>

(公財)よこはま学校食育財団ホームページ <https://ygs.or.jp>



家庭配布用献立表や給食の
レシピ(食育ひろば)などの
情報もあります。

翌月の家庭配布献立も前月
末には掲載されています。

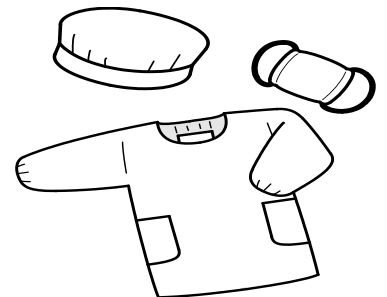
お願いします

○給食の持ち物

マスク、給食用のハンカチ、白衣帽子を持たせてください。
給食時間のあとに、歯みがきも行うので、歯みがきセット袋に、
こわれにくいカップ、歯ブラシも忘れずをお願いします。

○給食当番

当番が終わると白衣を持ち帰ります。
洗濯してアイロンをかけて、翌週に忘れずに持たせてください。



～給食記念日について～

学校給食は、明治22年（1889年）に山形県鶴岡町の私立忠愛小学校（当時はお寺）で始められました。お弁当を持ってこられない子ども達のために、「おにぎり2個・漬物・塩鮭」を出しました。その後、戦争のために食糧が不足し、給食が続けられなくなりました。戦争が終わって、昭和21年に外国から粉ミルク、小麦粉などが送られてきて、全国に給食が再開されました。給食が再開された昭和21年12月24日を記念し、（翌日から冬休みになるので）1カ月後の1月24日を給食記念日と決めました。

子ども達には、自然の恵みに感謝して食べものを大切にし、食事を作ってくれる人にも感謝の気持ちをもって食事をして頂きたいと思います。

横浜市立小学校の給食室の写真<<昭和22年から昭和29年頃>>



調理室です。
薪に火をつけて作ります。



食品庫です。
木の樽にしょうゆ
下の棚には「さつまいも」を置いています。



食べ物
ノート

七草がゆ

七草がゆは、7日の朝に春の七草（せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ）が入ったかゆを食べて無病息災を祈る行事です。

かゆに入れる七草は、6日の夜に「七草なずな とうどの鳥が 日本に 渡らぬ先に」などと歌いながら包丁でたたきます。

この歌は田畑を荒らす鳥を追いはらう、鳥追いに関係のあるもので、七草がゆの行事と、豊作を祈る行事が結びついたものといわれています。

春の七草

お粥に、刻んだ七草と塩を入れて混ぜるだけでできるので、ぜひ作ってみてください。